

いただきます！



給食だより
令和7年1月号
中野区立江古田小学校
校長 岡本 賢二
主幹栄養教諭 菅野 幸
学校栄養職員 石井 杏優美



がつ か にち ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
1月24日～30日は、全国学校給食週間です。

がっこうきゅうしょく 学校給食について知ろう！

【どうして学校給食があるのでしょうか？】

学校給食は、栄養バランスのとれた食事によって、子どもたちの健康と成長を支えるためにあります。また、食べて味わう「生きた教材」として、望ましい食事のとり方の手本となっています。さらに、学校給食によって、みなさんは、おもいやりをもったり、自然の恵みや働く人々に感謝する心を育てたり、自分の住んでいる地域や日本各地、世界の国々の食文化を学びます。そして、食べることを通して社会のしくみを学んでいきます。



【学校給食はいつ始まったのでしょうか？】

学校給食のはじまりは、明治22年（1889年）です。現在の山形県鶴岡市にあった、私立忠愛小学校で、お弁当を持って来ることのできない子どもたちのために、無償（お金をもらわないこと）で出された昼食でした。



- 日本最初の給食の内容
おにぎり 塩ざけ
つけもの（のざわな）



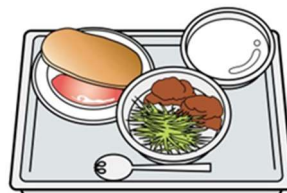
【おじいちゃんやおばあちゃん、お父さんやお母さんたちの小学校時代の給食は？】

●1942年（昭和17年）ごろ



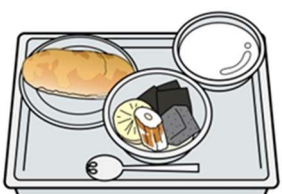
すいとんの
みそしる

●1952年（昭和27年）ごろ



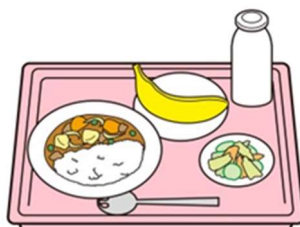
コッペパン、ジャム
脱脂粉乳、くじらの竜田揚げ
せん切りキャベツ

●1964年（昭和39年）ごろ



あげパン、
脱脂粉乳、
おでん

●1984年（昭和59年）ごろ



カレーライス
牛乳
サラダ
バナナ

●2008年（平成20年）ごろ～



ごはん
牛乳
焼き魚
煮物または
みそ汁
おひたし